

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県こどもみらい館 こども政策課

2 施設所在地
射水市黒河字高山4774番 6

3 施設設置年度
平成 4 年度

4 設置目的
児童に健全な遊びの機会と場を提供して、その健康を増進し、及び情操を豊かにするとともに、地域の児童館その他の関係機関等との連携を図り、もって次代の社会を担う児童の健全な育成に寄与する。

5 施設概要
鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階建て
建物面積 4,014.5㎡
(地下1階部分372.2㎡、1階部分2,285.4㎡、2階部分1,347.6㎡、エレベーター部分9.3㎡)

6 指定管理者
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間
5 年
令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
82,966	134,406	132,232	136,452	125,879

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R3	R4	R5	R6	R7
0	1	0	1	2

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R3	R4	R5	R6	R7
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和3年度から令和4年度にかけては、新型コロナウイルスに関する自粛の緩和により、利用者数が増加している。令和4年度から令和6年度までは利用者が大きく増減することはなく、多くのご利用をいただいた。

令和7年度の利用者は令和6年度と比べて約1万人減少した。夏の猛暑に加え、秋には全国的な熊出没についての注意喚起があり、団体利用のキャンセルなどで来館者が伸び悩んだことが影響したものと考えられる。今後も事業、管理両面において、安心安全で、こどもから保護者まで多くの利用者が常に快適に活動できるような運営に努めていきたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

① 情報提供

・県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校、児童館をはじめとする関係施設機関など約1,550か所に「こどもみらい館通信」を配布するとともに、ホームページにおいても最新のイベント等を紹介するなど情報の提供に努めた。

② ホームページ

・施設の利用案内やイベント情報を掲載しているホームページをより分かりやすく、よりタイムリーな情報の掲載に努めるとともに、問い合わせや意見・感想の聴取欄を設けるなど、利用者への便宜を図った。

③ 開館時間の延長

・太閤山ランドプール開場期間である7～8月の夏休み期間中について、開館時間を1時間延長した。

④ 休館日の臨時開館

・繁忙期である5月の大型連休中、7～8月の太閤山ランドプール開場期間中及び春季休業期間中は、休館日を設けず連日開館した。

⑤ 冬季期間のバス運行

・積雪のある冬季期間において、土曜日・祝日の無料循環バス運行の他、平日にも無料のミニバスを運行し、積雪時や降雪時の利用者の便宜を図った。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

30年にも及ぶ過去のプログラムも参考にしながら、今のこどもたちに沿った内容へと遊びプログラムをアレンジして様々な事業を行っている。充実したプログラムはリピーター率の高さなどから利用者にも一定の評価をいただいていると考えられる。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

①アンケート結果

実施方法	一般来館者（個人・グループ）を対象として、行事やプログラムに関する利用者アンケート・満足度調査を年2回実施している。団体客の来館時には団体利用者アンケートを実施している。
回答者数	来館者調査 第1回(8/10～8/11)：QRコード回答数238件 第2回(11/3)：QRコード回答数134件 団体アンケート 回収60/配布114
結果	・8割以上の来館者が家族連れで訪れており、地域構成や約8割が富山県内、そのうち富山市、高岡市、射水市の3市で全体の8割以上を占める。夏季休暇期間中は県外からの利用者が3割以上となっている。 ・来館回数からリピーターが多いことが示されており、ホームページやSNS等を活用した情報発信を行っている成果と併せて、口コミにより館の評判が宣伝される効果が高いものと考えられる。
結果を踏まえた改善事項	・県内にこどもたちのあそび場も充実して選択肢が増えるなか、児童館としての館事業の運営を工夫することで、リピーターの利用者の方には安定して利用をいただくことができた。今後も来館者の声を聴き、児童の心身の健康に有用な遊びプログラムを企画運営していく。

②その他利用者の声を反映させる取組み

こどもみらい館運営委員会を開催し、学識経験者や関係団体の代表の方から意見を伺っている。

③主な苦情と対応

・遠足で利用したが、館内が少し暑いように感じた。→施設老朽化により、冷房が最大限に稼働しても来館者が暑く感じるものが少しずつ増えてきた。冷房稼働時刻を早めたり、換気により気持ちよく遊ぶことができる環境を整えていく。
・団体予約をネットでできるようにしてほしい。また、他の団体の利用状況もわかるシステムがあればありがたい。→ネットによる予約システムは他の施設を参考にしながら改善に努める。団体予約状況がわかるようホームページの更新を行った。
・休憩ロビーからプレイホールへの通路のマットがめくれている。転びそうになるので危険だ。また、雨漏りも気になる。→安全を第一に考え早急に対処する。雨漏りについては、大規模な修繕を予定している。

(5) 個人情報保護の取組み

職場ミーティング等随時、職員に周知や注意喚起を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

太閤山ランドとの連携によりイベント等を開催した。県内児童館などへのプレーバス巡回事業を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

大型遊具の定期点検をはじめ適切に管理されている。点検等において不具合のあった箇所は直ちに修繕が行われている。

(8) 危機管理・安全管理などの取り組み

非常時の緊急連絡網、危機管理マニュアルを作成し、職員に周知や注意喚起を図っている。

10 所管課の管理運営確認状況

	有／無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	2
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

・プレイホールでの週替わりプログラム、造形エリアでの月ごとにテーマを替えたプログラム、高学年を対象としたこどもサロンの運営などを行い、常に新しい発想で来館者の満足度向上に努めてきた。令和8年度以降も引き続き来館者の声を聴きつつ、利用者が快適に活動できるような取り組みを進めてもらいたい。

・開館から33年を超え、老朽化による設備更新や景観保持が指定管理費の中で対応することが困難となっており、令和8年度以降、県において大規模修繕を行う予定である。引き続き、利用者が安心して快適に過ごせるよう環境整備を進めていく必要がある。

・今後も多くの利用者が常に快適に活動できるよう、太閤山ランド等との連携を強化し、事業・管理両面で運営改善に努めていただきたい。